

1

2006
January

広報 **こが**
PUBLIC RELATIONS
KOGA

No.588

【全ページ・オールカラー】

2006年1月号(平成18年1月10日発行)第588号



博多どんたくへ鷹野の「子ども半面会」が出演



すっかり名物。駅前商店街の“土曜夜市”



市図書館主催の「テーマミュージックコンサート」



ちゃぶ台を囲んでの「井戸ばた会ギ」



千鳥小で行われた“防犯教室”での犯人逮捕の瞬間！



毎年恒例の
「成人式記念駅伝」



古賀放生会から



青柳五所八幡宮“ムーミンの木”



ラブアース・クリーンアップ2005



古賀市消防団「出初式」



福岡アンサンブル・アカデミー

あなたが撮った写真を
「広報こが」に掲載しませんか。

広報写真[募集]

係では皆さんの“傑作写真”を随時募集中！

- 応募要領 写真サイズは自由(デジタル写真も必ずプリント)で、写真といっしょに簡単な説明文、撮影データ、撮影者の氏名、住所、電話番号などを記入した用紙を添付。
- 応募先 いつでも、古賀市企画課広報係で受け付けます。郵送の場合は〒811-3192 古賀市役所企画課広報係

問い合わせ先

☎ 9 4 2 局 1 1 1 1 番 内線316番

CONTENTS

JANUARY

九大ホストファミリー募集

古賀市長 新年のあいさつ……………2～3p

都市づくり新時代……………4p

図書館だより……………5p

ひろば……………6～7p

こども政策課……………8～9p

生活情報……………10～11p

ヒューマンライツ……………12p



九州大学では、毎年7～8月に「アジアを学ぶ」6週間の短期留学サマーコースを開講しています。このコースでは、留学生たちに日本への理解をさらに深めてもらうため、日本の家庭での生活を実際に体験する「ホームステイ」の機会を設けています。世界各地からやってくるこうした留学生たちを受け入れていただく「ホストファミリー」へあなたも応募しませんか。

九州大学サマーコース

ホストファミリー募集

Asia in Today's World



古賀市長 中村 隆象(57歳)

写真撮影協力
写真スタジオMK (庄南区)

古賀市民の皆様、
あけましておめでとうございます。

今年も皆様におかれましては、それぞれ夢に向かって、新しい第一歩を踏み出されたことと思います。

中国の春秋時代の名宰相と謳われた管仲は次の言葉を残しています。

Asia in Today's World



【ホームステイの期間】

サマーコース後半の3週間、または全期間の6週間

後半……7月22日～8月12日・13日

全期間……7月1日・2日～8月12日・13日

●留学生は7月1日、2日のいずれかに来日し、全期間ホームステイの場合、到着日からホームステイ開始となります。後半ホームステイの場合は、ウィークリーマンションでの3週間の生活を経てホームステイ開始となります。

【申し込み期間】

4月14日(金)まで

●留学生の人数に満たない場合は引き続き募集を継続する場合があります。

【募集対象】

●留学生たちが九州大学(福岡市東区箱崎)まで1時間以内で通学できる地域にお住まいで、個室、朝夕2回の食事をご提供していただけるご家庭

【謝金】

後半(半期)……35,000円

全期間……70,000円

※別途、古賀市からの補助もあります。

■申し込み・問い合わせ先

九州大学国際交流推進室

福岡市東区箱崎6-10-1

☎642局4275番

http://www.isckyuushu-u.ac.jp/intweb/
市役所企画課 ☎942局1113番



一樹一穫は穀なり
一樹十穫は木なり
一樹百穫は人なり
これは

一年先のことを考えるならば穀物を植えよ。
十年先のことを考えるならば木を植えよ。

国家百年の計を考えるならば人材を育成せよ。
ということです。

マスタープランの折り返しの年に当たり、私たちは改めて街づくりの原点に立ち返り、古賀市の百年を想って、平成十八年のテーマを「人材育成」とします。

子育て、青少年教育、生涯学習、文化・芸術の振興、体づくりなど、あらゆる面において、再度「人材育成」の体系を構築して参りたいと思います。

地方自治体を取り巻く行財政環境は、依然として厳しい状況が続いていますが、夢が持てる明日の古賀市を目指して、市民、職員一体となって取り組んでいきたいと考えております。

本年も、皆様に健康と友人がもたらされますように……。

平成十八年一月

古賀市長 中村 隆象



第7回 「谷山区まちづくり委員会」の様子

小竹区	8回
谷山区	8回(終了)
米多比区	8回
小山田区	6回
薬王寺区	3回
青柳区	2回

【表1】まちづくり委員会の開催

各行政区のまちづくり構想(委員会案)がまとまると、その委員会案は最終的に区の総会などで検討され、(行政区案)まちづくり構想となる予定です。

まちづくり構想委員会案を区の総会などで検討

谷山では、まちづくり構想委員会案がまとまりました。谷山区のまちづくり委員会は16人で構成され、平成16年12月22日に「第1回まちづくり委員会」が始まりました。その後、熱心な意見交換が重ねられ、平成17年11月22日の第8回で「谷山区まちづくり構想(委員会案)」がまとまりました。約1年近くかかりましたが、地域が目指す土地利用の方向性の委員会案が明らかになりました。

都市づくり新時代

「まちづくり委員会」が地元主体で進行中

現在、都市計画区域外の8行政区のうち6行政区では、将来(おおむね20年後)の土地利用の将来像(まちづくり構想)について話し合う「まちづくり委員会」が表1のとおりに着々と進行しています。

現在、都市計画区域外の6つの行政区では「まちづくり委員会」が開催されています。今月号では委員会の進み具合や、その中で作成される、「まちづくり構想」についてご紹介します。

谷山では、まちづくり構想委員会案がまとまりました

都市計画区域への編入予定区域



よんでみませんか



題名
「金田一先生に教わった手紙のこころ」
著者
井上 明美
学習研究社 刊

あらすじ

普段のおつきあいの手紙から、おつきあいを深める手紙まで、さまざまなジャンル別の手紙が、その作例とともに紹介されています。著者は国語学者である金田一春彦の秘書となつてから、「金田一春彦先生に教わった敬語のこころ」の電話編、敬語編、ビジネス敬語実践編などを書いていきます。本書は「手紙編を増やしてほしい」という読者のたくさんの声から実現した1冊です。金田一先生との手紙にまつわる多彩なエピソードも満載です。

2月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

● は休館日です。
※第4木曜日は整理休館日

- 開館時間…10時～18時
- おはなしかい
4日(土)、11日(土)、18日(土)、
25日(土) 11時～11時30分
- 名画会
18日(土) …14時～(上映時間100分)
「フェアリーテイル」(イギリス映画)
- 子ども映画会
次回は3月の予定です。

名画テーマミュージック コンサートのご案内

- 平成17年2月12日(日) 14時～15時
- 演奏 アンサンブル・コモド



第334回

図書館だより

図書館利用のマナーアップをめざしています。

利用者の皆さんから「話し声がとても気になる」「雑誌に切り取りがあった」などマナー違反に関するさまざまな苦情が後を絶ちません。

図書館では、お互いに気持ちよく利用できるように次の点に気をつけてマナーアップを目指します。
ご協力をお願いします。



【館内での過ごし方について】

- 館内では小さなお子さんといっしょに行動し、図書館での過ごし方について教えてあげてください。
- 走ったり、大きな声を出したりしないようにしてください。
- 館内での飲食はできません。(閲覧席での飲食が特に目立ちます。)
- 館内での携帯電話、電卓の使用は禁止です。携帯電話はマナーモードにし、通話はロビーでお願いします。
- 手に取った資料は元あったところへ戻しましょう。
- 閲覧席は読書や調査研究のための机です。持ち込みの学習や居眠りは、ご遠慮ください。

【図書館資料(本、CD、ビデオなど)の取り扱いについて】

- 返却期限を守りましょう。
- 本の被害(汚れ、切り抜き、ページ折り、書き込み、水漏れ、ペットによるかじりなど)が多く困っています。本やCD、ビデオなどの寿命は、あなたの手によだねられています。

ちょっとした心遣いで、やさしく丁寧な取り扱いをお願いします。

本の貸出期間延長についてのお知らせ

- 貸りている本に予約がかかっていない場合は期間の延長ができます。
- 延長の手続きができる期間は延長したい本の返却期限内です。
- 利用者カードをお持ちの上、カウンターで返却期間内に手続きをしてください。

子どもさんと絵本を楽しむ時間をつくりませんか。
近くの文庫が皆さんを待っています。

地域文庫紹介

市内にある7つの文庫は、その地域のお母さんたちが中心となり、子どもたちに読書の楽しさを伝える活動をしています。30年近い歴史を持つ文庫もあります。本の貸出しだけではなく、地域の人たちとの「触れ合い活動」を通して、子育てと地域活性のために文庫の存在が、大きな力となっています。

今回は、市内にある「しらさぎ文庫」を紹介します。

- 所在地 市内940-1 都府内会館内
- 大人のボランティア会員 2人
- 活動日 毎週火曜日 16時～18時
- 蔵書数 1,700冊



だれでも気軽に本を手にとることができます。元気なおもしろうちっ子が地域の人と触れ合いながら「晴遊雨読」のできる場所になればいいと思っています。



●3月生まれの赤ちゃんの写真は、赤ちゃんの氏名に生年月日、住所、保護者氏名、電話番号とメッセージ(65文字以内)を添えて郵送、または持参してください。2月3日(金)必着。掲載は1歳～3歳で、1人1回とします。応募多数の場合は抽選とします。
●問い合わせ・申し込み先【〒811-3192(住所不要)市役所企画課広報係 ☎942局1111番(内線316)】※写真返却希望の場合は、返信用封筒(80円切手を貼ったもの)を同封してください。



みわ せなちゃん
三輪 星奈ちゃん
1月2日生まれの2歳
中央

いつも元気いっぱい、おてんばの“せな”ちゃん。これからも、大好きなお兄ちゃんと仲よく遊ぼうね☆ 2歳のお誕生日おめでとう♡ パパ・ママより



かしわら もときちゃん
梶原 一樹ちゃん
1月8日生まれの1歳
駅東

一樹・1歳のお誕生日おめでとう。これからも、元気でのびのびと大きく育ってね。



よしだ ゆうとちゃん
吉田 優斗ちゃん
1月8日生まれの1歳
谷山

お誕生日おめでとう！たくさん食べて大きくなってね。優斗は、お父さんとお母さんの宝物です!!



やまざき いくと
山見坂 粹人ちゃん
1月11日生まれの2歳
青柳

電車・飛行機・自転車……乗物が大好きで見つけるとすぐに手を振る粹人。お世話も大好き！やさしいお兄ちゃんになりそうです。おめでとう♪



のだ ゆきひろ
野田 幸和ちゃん
1月14日生まれの1歳
舞の里

泣きペソで、甘えん坊のユツキー。あなたの笑顔が幸せを運んでくれます。お姉ちゃんたちに負けないで、元気で優しい人に育ってね。



差別を許すな！人権を守ろう 人権パレードで差別のない街へ

12月4日からの人権尊重週間に合わせ、多くの人に人権の大切さと明るい社会を訴えようと人権パレードが行われました(12月5日)。パレード隊(30団体 約140人)は、古賀東中学校放送部の皆さんのアナウンスを先頭に市立球技場を出発、JR古賀駅、駅前商店街などを行進しました。サンリブ古賀駅前店では、古賀中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏も披露、集まったお客さんへの街頭活動を行いました。



歌に踊りに笑いあり 県障害者文化祭に 参加しました

師走とともに福岡市内のデパートは買い物客で大混雑。大丸デパート・パサージュ広場も例外ではありませんが、そこに聞こえてきたのが軽快で楽しい音楽(12月3日)。今年で第6回となる県障害者文化祭が開かれ、古賀市からもシンコスモ演芸部(北崎利明部長)が博多にわかれや踊り、合唱などで参加。ひととき大きな拍手を得ていました。



ペッタンペッタン餅90kg 年末に“おいしい”贈り物

千鳥小学校区の福祉会の皆さんが、毎年恒例の「餅つき」(12月3日 市社会福祉センター千鳥苑)を行いました。チビッコから会の役員など総勢約450人が参加して、この日1日で作られた餅は90kg。できあがった餅はさっそく、同校区内(7行政区)の一人暮らしのお年よりなどを中心に配られました。



手をつないで守ろう 松林を愛する人大集合

毎日目にしている松林。美しい松林は風を和らげ、飛び砂を防ぐ大事な役割を持っています。また、市町村を超え、海岸線に延々と続く松林は私たちの大切な財産です。そんな松林を愛し、日々手入れを行っている団体が「第8回沿岸松原サミット」に集結(12月4日 古賀西小学校)。集まった6市5町17団体からの活動報告や提案に続き、古賀西小学校と花見小学校の児童による「友情の松」の交換やサミット宣言文の発表などが行われ、同じ思いを共有した熱のこもったサミットになりました。

あなたの子育て 応援しています。

でんでんむし(つどいの広場)

「でんでんむし」は、乳幼児とその保護者が気軽に利用したいときにいつでも自由に
利用でき、親子でいっしょに遊ぶことができる広場です。
子育て中の親子の皆さん、仲間と出会い、おしゃべりや
情報交換を通じて交流し、遊びや子育てに関する
体験の場としてご利用ください。

対象児童 0歳～3歳までの児童とその保護者
実施場所 サンコスモ古賀内
連絡先 942局1183番(直通)



「お外に行くよ!」と言うと、玄関を指差すようになった1歳3か月の娘。午前中はよくこの「でんでんむし」を利用しています。午前11時から始まる「手遊び」の時間が大好き——。楽しそうに踊ったり、お話を聞いたりしています。私も久しぶりの工作に夢中になったり、まるで童心にかえったようです。古賀に越してきて半年近くになりますが、最初は話す相手もなく、寂しい思いをしていました。ここを利用するようになった今では、子育てにつまづいたときは相談したり他愛もない話ができる友達もたくさんできました。今の生活には欠かせない場所ですね。

佐藤優ちゃんとお母さんの久美子さん

自分の好きな時間に利用できるというのがとても気に入っています。おもちゃにも子どもが興味を持てるようなものが多く、午前(11時)と午後(14時)にある親子遊びは楽しく、いつも参加しています。とてもいいですよ。

住吉美茜ちゃんとお母さんの留美子さん



でんでんむしは、平日(土・日、祝日は除く)の9時～16時まで開設しています。



お知らせ ブックスタート事業

でんでんむしでは、赤ちゃんに本のプレゼントをする「ブックスタート事業」を行っています。絵本の引換券をお持ちの人で、まだ本と交換されていない人は、至急ご連絡ください。

連絡先 でんでんむし
☎ 9 4 2 局 1 1 8 3 番(直通)

一時保育

一時保育とは、家庭での育児疲れ解消、傷病や入院、断続的勤務、短時間勤務などで一時的に保育を必要とする児童を対象に、保育園などでお預かりする事業です。

対象児童 0歳～就学前の児童
実施場所

花見光保育園 千鳥1-6-21
☎ 9 4 4 局 1 1 5 2 番 定員 10人

花鶴どろんこ保育園 花鶴丘1-12
☎ 9 4 3 局 5 0 0 5 番 定員 5人

ほづみ保育園 久保379-1
☎ 9 4 4 局 0 4 6 7 番 定員 5人

利用料金(1時間あたり)

0歳 600円 1歳 500円

2歳 400円 3歳以上 300円

※給食、おやつ代は別途400円がかかります。

●事前登録が必要です。詳しくはそれぞれの保育園へお問い合わせください。

おひさまルーム(病後児保育)

病後児保育とは、保護者の仕事などの都合により病氣回復期の児童を家庭で育児ができない場合に、医師の現症連絡票(診断書)に基づいて、一時的に保育所でお預かりする事業です。

対象児童 生後6か月～小学校3年生の児童

実施場所 市立鹿部保育所(おひさまルーム)

鹿部737-1 ☎ 9 4 3 局 0 0 8 1 番

定員 原則4人/1日

利用料金 0～2,500円/1日

※家庭の課税状況に応じて決定

現症連絡票 1,050円/1枚(病院へ支払い)

※事前登録が必要です。詳しくは鹿部保育所(おひさまルーム)へお問い合わせください。



「でんでんむし」は、他の施設にはないゆっくりした環境で、親子で楽しんでいます。先生たちやたくさんの“ママたち”とも気軽に会話ができて、ただ開放しているだけじゃないというのも安心です。

彩華ちゃん・麗華ちゃんとお母さんの明美さん



「でんでんむし」が開設されたときには、まだ生後2か月だった娘も早いもので8か月になりました。始めのうちはあお向けに寝転び、ただただ周りのお友達の姿をジーと見ているだけでしたが、最近は寝返りもでき、腹ばいで好きなオモチャを見つけては近づいています。特にスポットタイムの体操やペープサート、エプロンシアターなどは目を輝かせています。

体操は私もしっかり覚え、ここに来ない日も家で歌いながら体を動かしています。毎回毎回、いろんな活動を取り入れていただいているので、参加するのがほんとうに楽しみです。

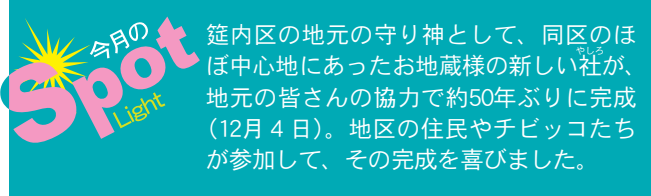
家では主人にいつも「でんでんむし」であったことを話していますが、私たちの希望は「パパもいっしょに参加しましょう——」みたいな日を月に1度ぐらいはつくってほしいですね。

野見山陽菜ちゃんとお母さんの恵美子さん



「でんでんむし」は友達のママから聞いて知りました。いつでも好きな時間に遊べて、木のオモチャや先生たちの作ったものもたくさん置いてあったりして、子どもも楽しく遊んでいます。家の中に居ると、いつも子どもに「ダメダメ……」ばかり言って自由に遊ばせなかったもので、ここは親子で楽しんでいます。いろいろなママや先生たちに相談に乗ってもらえるのも、ほんとうに感謝です。

櫛下晟那ちゃんとお母さんのさおりさん



■**場所** 粕屋保健福祉環境事務所(粕屋町大字仲原984-4)

■**講師** 橋本みきえ(西九州大学社会福祉学科)

※講演会終了後に参加者での座談会を予定しています。参加は自由で参加費も無料です。希望者は2月1日(水)までにお電話でどうぞ。

■**申し込み・問い合わせ先** 粕屋保健福祉環境事務所

保健福祉課障害者福祉係
☎ 939局1185番

パブリックコメント募集

市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、「古賀市子ども読書活動推進計画書」も策定を行っています。策定に当たっては、皆さんからのご意見（パブリックコメント）などを参考に最終策定

する予定です。詳しくは広報
 報こが2月号に掲載します
 ので、皆さんのご意見をお
 寄せください。
 ■問い合わせ先
 市立図書館
 ☎942局2561番
 西鉄宮地岳線を
 1日満喫しよう
 大正14年(1925年)の開
 通以来、私たち古賀市民
 にとって重要な公共交通機

47件のご意見が寄せられました。

「後期基本計画」と「パブリックコメント実施結果の公表」については、古賀市の公式ホームページに掲載しています。また、市内5か所（市役所・市立図書館・市中央公民館・サンコスモ古賀、市隣保館）で閲覧できますので活用ください。

■問い合わせ先
市役所企画課
0942局1113番

精神保健福祉研修会
と座談会

精神障害者の福祉・地域
支援について考えてみませ
んか。粕屋保健福祉環境事



**古賀市に納付分の
国民健康保険税・介護保険料(普通徴収)
納付額証明書の交付方法が変わります。**

申告期間 2月16日(木)～3月15日(水)

今まで会場受付前で納付額証明書を交付していましたが、今回から申告会場で納付額を確認できるようになりましたので、証明書の交付はいたしません。

自分で申告書を作成する人、
税務署などで申告する人

平成17年1月1日から同12月31日までの支払い額を納付書などで計算し、申告書に計上してください。その際、領収書などの提示が必要です。

納付額証明書が必要な人は、国民健康保険税については国保年金課へ、介護保険料についてはサンコスモ賀高齢者福祉課へお越しください。

■ 問い合わせ先
市税課市民税係 ☎ 9 4 2 局 1 1 1 1 番 内線234～237番
国保年金課国保係 ☎ 9 4 2 局 1 1 1 1 番 内線211・213番
サンコスモ古賀高齢者福祉課
☎ 9 4 2 局 1 1 5 6 番 内線821～823番

1月
JANUARY
生活情報
LIVING INFORMATION

● 古賀市役所の代表電話番号 0942-1111番

● 個展や展覧会を開きませんか。市コミュニティホール（JR古賀駅の2階）は、みんなのふれあいの場所です。詳しくは、同ホール（0943-7441番）へ。

● 次回の市役所裏での分別収集は、1月10日・17日・2月7日のいずれも午後1時から4時までです。

沿線住民の皆さんの積極的な利用を呼びかけています。

そんな中、西鉄では沿線の古賀市・福津市・新宮町などの協力で、宮地岳線を1日乗り降りできるお得な「福津市散策きっぷ」を発売しています。福津市潮湯の里夕陽館・ウエルサンピア福岡の入浴券、福津市周辺施設の割引特典などがついて大人800円(小児320円)です。ぜひご利用ください。

■問い合わせ先

西鉄テレフォンセンター
733局3333番
西鉄貝塚営業所
651局2524番

古賀市の入札参加資格審査の追加受付

古賀市が発注する①建設工事、②測量・コンサルタントなど、③物品購入・役務(警備・清掃設備保守点検・害虫駆除など)提供の入札(見積りを含む)に参加希望する「入札参加資格審査申請」の追加受付を行います。これは昨年の受付期間中に申請できなかった追加申請ですので、すでに昨年、申請受理された人の申請は必要ありません。

■受付期間

2月1日(水)～同28日(火) 郵送では受け付けません。

■受付場所

市役所財政課
942局1111番

■有効期限

平成18年4月1日～同19年3月31日

■申請方法

申請要領は1月16日(月)から市財政課窓口で配布します。郵送の場合は返信用封筒(角2)を同封し、切手(①・②Ⅱ1部/120円 ③Ⅱ1部/140円)を貼ってお申し込みください。また、古賀市のホームページからもダウンロードできます。

■お問い合わせ先

市役所財政課
942局1111番

内線343・346番
古賀市ホームページ
<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>

「かすやの古墳展」へどうぞ

市歴史資料館(サンフレアこが2階)では、1月15日(日)から2月5日(日)まで、「発見! かすやの古墳展」を開催します。また、同展開催中の1月29日(日)には、「糟屋の古墳とその時代」の報告会も予定しています。古代史に関心がある皆さん、ぜひご参加ください。

■報告会への参加定員

先着80人

輝かしい伝統と団結心が誇り

過去の消防ポンプ操法大会での古賀市消防団の輝かしい歴史は、この分団抜きにしては語れないほど、その「技」は洗練されていました。福岡県代表として2度の全国大会出場を果たし、昭和51年(1976年)には全国準優勝という戦績も残しています。

これほどこの分団が他の分団より卓越しているのは、昔から培われてきた強い団結心と、市の消防団幹部を輩出するほどの恵まれたOB陣たちから受け継がれてきた伝統を引き継いでいるからにはなりません。旧青柳、小野校区の分団の中で唯一、自動車ポンプ(他は小型ポンプ積載車)を装備するなど、地域の中心的分団として、地元の信頼に十分応えながら、地元消防団の手本として常に古賀市消防団を引っ張り続けています。



古賀市消防団第17分団

管轄区 ■ 谷山区 分団長 ■ 川上 秀幸さん



色紙プレゼントのお知らせ

昨春秋に開催されましたクロスパル開館記念事業の出演者の皆さんのサイン色紙をプレゼントします!

■申し込み方法

官製はがきに①希望される色紙名 ②住所 ③名前 ④電話番号 を明記の上、下記までご応募ください。

※応募者多数の場合は、抽選となります。なお、原則として郵送はいたしませんので、市役所まで取りに来られる人に限りです。たくさんのご応募、

今日の環のんポイント WARM BIZ (ウォームビズ) で 温暖化防止!

たとえば、重ね着や3つの首(首、手首、足首)を暖める小物使いなど、おしゃれて暖かく快適に過ごす着こなしをしてみたり、根菜を中心に食べることで体の中から温まったり……。過度に暖房器具に頼らない冬の過ごし方を始めましょう。



環境課 ☎942局1127番

■申し込み方法

1月16日(月)から27日(金)まで電話で受け付けます。

■申し込み・問い合わせ

市立歴史文化財課
944局6214番

■お待ちしております。

■プレゼント色紙

- ・大川栄策さん……2名
- ・松原のぶえさん……2名
- ・神野美伽さん……2名
- ・島津亜矢さん……2名
- ・北山たけしさん……2名
- ・川野夏美さん……2名
- ・風見しんごさん……2名
- ・平野レミさん……2名
- ・テツand トモさん……1名

■応募締切

1月31日(火)必着

■応募先

市役所企画課
色紙プレゼント係
〒811-3192古賀市駅東1丁目1番1号



●この物語は奥山和弘・著「一寸ちゃんがゆく」からアレンジしています。
先月号の「芝刈り」は「柴刈り」の間違いでした。

女と男のいい関係

モモタロー

ノイ・リターン

「女の仕事」「男の仕事」、「男だから」「女だから」……。皆さんも知らず知らずのうちに決めつけていませんか？先月号に続いて今月も、皆さんよくご存知の「むかし話」から、そんな社会の姿を見つめ直した物語を紹介いたします。



「たとえ自分の子でなくても、おっぱいが出なくても、女には子どもがかわいいという母性が……」

「あなたはかわいくないのですか？」

「いや、そんなことは……」

「でしたら女も男も変わりはないではございませんか？」

「そ、そうかな……」

お爺さんは納得したわけではないものの、2人で桃子を育てることにしました。

柴刈りは交代で出かけ、洗濯や炊事は、その日その日で都合のつく方が行います。

長い間の暮らしが変わつたので、二人ともおわらわでした。日ごとの桃子の成長が励みとなっていました。

お爺さんも苦労しながら桃子を育てる中で、「かわいい」という実感が生まれてくるようでした。



お婆さんが主になって育てると、

お爺さんとお婆さんが協力し合って

育てるのは、桃

子ちゃんとお爺さん

やお婆さんにとつ

てどちらが輝いて生き

ていると思いますか？

(この続きが知りたいと思わ

れる方は人権・同和政策課にお問

い合わせください。)

夕方になって、お婆さんが帰ってきた。背中にはいつものお爺さんと同じくらいの枯れ枝があります。「運ぶにはさすがに力があるのでと覚悟していたのですが、しよせん枯れ枝ですね」お爺さんの「男の誇り」は打ち砕かれてしまいました。

さて、桃の話をする、お婆さんは「小さく切つて運べばよいではございませんか」と言つて、包丁とまな板を持つて、すたすたと川へ向かいました。お爺さんはすぐごと後に従いました。桃を切つて運ぶことなど思いつかなかったばかりか、実は包丁のありかさえ知らなかったのです。

「それにしても、この時期に桃とは珍しや」とつぶやきながら、お婆さんが包丁を入れる、中から「おきやあ」と元気な女の赤ちゃんが現れました。「山向こうの村で、昔、竹から生まれた女の子がいた」という話は聞いたことがあるけれど……。二人はこの子を「桃子」と名付けました。

翌朝、お爺さんが山へ行こうとすると、お婆さんが袖を引いて言いました。「待つてください。私が一人で育てるのでございますか？」「一人でということではないが、おまえが主に育ててほしい」お爺さんは慎重に答えました。「どうしてでございませう？」「どうしてって、子どもは女が産むものだし、おっぱいも女にしか……」

そこまですつてお爺さんはハッと気づきました。桃子はお婆さんが生んだわけではありません。お乳だつて出るはずがないのです。それでもお爺さんは子どもは女が育てるものだと考えました。

問い合わせ先 人権・同和政策課

☎942局1111番(内線284)

点描

編集後記

●昭和30年に古賀町、小野村、青柳村が合併して“新”古賀町が誕生。その後、すぐに発行が開始となった「広報こが」(当時は「公報古賀町」)ですが、50年近い歴史の中で、おそらく初の試みとなる全ページカラー化を今月号で実現しました。●印刷に

詳しい人ならおわかりだと思いますが、1色刷りというのはその名のとおりに1つの色で全体を印刷します。これに対しカラー印刷は色の3原色のシアン(青)、マゼンタ(赤)、イエロー(黄)の3色にスミ(黒)を足した4色で印刷するもので、それだけに完成するまでの製作日数は通常より多くかかります。●ただ、世はまさにカラー時代、広報係では、古賀市の行事など“記

録”として残しているさまざまな写真もすべてカラーで撮影していますので、今後も積極的に

インターネットに接続可能な携帯電話からもご覧いただけるホームページを開設しました

携帯電話用アドレス
http://www.city.koga.fukuoka.jp/m/
※一部の携帯電話ではご利用できないことがあります。

QRコード対応のカメラ付き携帯電話で右のコードを読み取ると、古賀市の携帯電話向けホームページへ素早くアクセスできます。

古賀市公式ホームページQRコード



広報のオールカラーページ化にチャレンジしていきます。お楽しみに。(松田)

ひとのデータ

人口……………56,688人
男性……………27,350人
女性……………29,338人

データ●2005年12月21日現在

●特別編集スケジュールのため、12月20日に集計したデータとなっています。12月末現在の「ひととのデータ」は次号でお知らせします。